

≪モンゴルの1年生も大喜び!!≫



をモンゴル に贈ろう!

☎文化資源活用課オリンピック・パラリンピック
推進室(本庁舎 2階) ☎ 36-7214

モンゴル国の子どもたちにとって、ランドセルは明るい未来の象徴であり、学習意欲を向上させる宝物です。押し入れの奥に、しまい込んだままのランドセルはありませんか。モンゴルの子どもたちの夢の実現に、ぜひご協力ください。

Qなぜモンゴルなの?

A 富士山静岡空港から毎年モンゴル国へのチャーター便が就航し、民間交流も増加しています。また、同国のボクシングナショナルチームがオリンピック事前合宿を市内で開催するなど、近年は当市とモンゴル国との交流が盛んになっています。

Qなぜランドセルなの?

A 親日国家として知られ、めざましい経済発展を遂げているモンゴル国。しかし、厳しい生活環境の中で暮らす子どもたちが、いまだに多くいます。そのような子どもたちにとって、ランドセルは中古であっても「憧れの日本製品」なのです。

Q本当に中古品でいいの?

A モンゴル国でのランドセル人気は高く、入手が困難です。また、大変丈夫な日本のランドセルは、

小学校で6年間使用した後、まだまだ使うことができます。

Qどんな状態のランドセルでも大丈夫?

A 修理などが必要なものは、受け付けません。基準に満たないランドセルが郵便・宅配便で寄せられた場合は、処分させていただきます。

Q受付期間と場所は?

A 5月末までに、直接窓口に参加をお願いします。

◎文化資源活用課オリンピック・パラリンピック推進室(本庁2階)

◎金谷北・南支所、川根支所

Qモンゴルまでは、どういう経路で輸送されるの?

A 上海まで船便で、そこから鉄道でモンゴル国ウランバートル市のバヤンゴル区役所宛てに輸送されます。その後、同区の養護施設に贈呈されます。

Comment



「私が寄贈したワケ」
森下かおるさん
(上野田)

中学3年生の長男が6年間使っていたランドセルを持ってきました。思い出が詰まった品なので、保管していました。が、モンゴルの養護施設の子どもたちが喜ぶなら、子どもと相談して寄贈を決めました。私たちの想いが少しでも、島田市でのオリンピック・パラリンピック機運の盛り上がりにつながれば、2020年が一層楽しみになりますね。



窓口に寄せられた多くの人の善意